

檄！

令和の志士たちへ！ 求む、正直家管理者！

今の時代に、何か閉塞感、感じていませんか？
何か、やってやろう！ そう、思っていませんか？

ICT・AIの時代を迎えて、世の中に生き残っていく「しごと」とは何か？
それは「人が人に、お世話をする」仕事です。

開設以来10年。

人生を懸命に生き、いま黄昏を迎えられた高齢者の方々に対し、
その最期を「自分らしく」終わっていくためのお手伝い。
そのためには、いったい、どうすればいいだろうか…？
正直家は、これを愚直に、求め考えて参りました。

歳を取り、病を得た方々に対して、
「メディカルホーム」として、果たして何ができるのか？

看護・介護・リハビリ、もってご利用者の生活全般の支援。
これらを「楽しく」「ワンストップで」「つつがなく」提供すること。
これこそが、正直家に課せられた「使命・ミッション」です。

高齢者施設として、成りは小さくても「地域の範」になるような施設。
職員みんなが、いっしょに、気持ちよく、ハッピーに働ける施設。

ゴールは、ありません。今できる「最善」を目指します。

私と、職員のみならずともに、
常に考え続ける人、その先頭に立つ人、ときには支える人。
正直家は、そういう「あなた」を、求めています。

令和三年四月

正直家管理者・MAクリニック院長 谷崎俊哉